

■市長改選後初の臨時会を開催

4月20日に行われた富良野市長選挙で能登市長が再選され、改選後初めての富良野市議会臨時会が5月20日に開催されました。

一般会計補正予算で、緊急雇用創出事業350万8千円、地域特産品振興対策事業195万2千円が追加されました。

議会側案件では、富良野市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙が行われ、委員には桐澤博氏（再）、堀川眞理氏（再）、高畠公子氏（再）、伊藤和朗氏（新）、補充員には、藤本利昭氏（再）、河合良美氏（再）、桂原哲氏（再）、堀田修司氏（再）がそれぞれ選任されました。

教育委員の任命では近内栄一氏を任命し、能登市政の3期目がスタートしました。

市長側提出案件は7件（内訳：予算1、人事2、報告4）議会側案件が2件あり、それぞれ審議・可決されました。特に人事案として、副市长の選任では石井隆氏を再選、教育委員の任命では近内栄一氏を任命し、能登市政の3期目がスタートしました。

そのほかには、平成26年度（日里雅至議員外6名）



副市长
石井 隆氏



教育長
近内栄一氏



後藤英知夫氏

第1回臨時会

新議員に後藤英知夫氏が當選

◇前市議会議員千葉健一氏の辞職により欠員が生じていた市議会議員の補欠選挙で、3名の立候補の届出があり、4月20日に投票が行われた結果、後藤英知夫氏が当選しました。
臨時会において、欠員となつていていた保健福祉常任委員会へ補充選任されました。

可決された意見書

◇第2回定例会に議員提案された意見書は次の5件です。意見書は可決後、直ちに関係機関に送付しました。

●ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

（白里雅至議員外6名）

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の対象となる治療がインターフェロン治療とB型肝炎の核酸アナログ製剤治療に限定されているため、対象とならない患者が多い。そのため高額な医療費の負担や就労不能など生活に困難を来しているため、医療費助成を含む生活支援の拡充を求める意見書

●政府規制改革会議の「農業改革に関する意見」の取り扱いに関する意見書

（広瀬寛人議員外6名）

政府の規制改革会議が発表した意見は、地域農業を大きく変容させ、農業者をはじめとして地域住民や国民生活に重大な支障をきたす懸念があることから、「農林水産業・地域の活力創造プラン」改定時に反映させる場合は農業者や国民の視点に立

ち、慎重な取り扱いをするよう求め

る意見書

●林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

（岡野孝則議員外5名）

人工林資源が本格的な利用期を迎える中、地域の特性に応じた森林の整備・保全を着実に進めるとともに、

森林資源の循環利用による林業・木材産業の振興施策の充実・強化を求める意見書

●地方財政の充実・強化を求める意見書

（今利一議員外7名）

地方自治体が担う役割は年々拡大しており、国と地方自治体との十分な協議の下、地域の財政事情を的確に見積もり、これに見合う地方交付税及び一般財源総額を確保することを求める意見書

●2015年度国家予算編成における教育予算確保・拡充を求める意見書

（岡本俊議員外5名）

子ども達に行き届いた教育を保障するため、義務教育費無償、義務教育費国庫負担制度の堅持、当面負担率2分の1への復元など教育予算の確保・拡充を求める意見書